

令和5年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費
2 項 企画費
6 目 文化財保護費

とっとり弥生の王国推進課（電話：0857-85-5011）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
史跡青谷上寺地遺跡整備事業	500,417	1,270,016	△769,599	108,518	<192,500> 275,000	<受託事業 収入> 59,223	57,676	県費負担 250,176
トータルコスト	523,808千円（前年度 1,293,674千円）〔正職員：3人〕							
主な業務内容	土木関係工事 ガイダンス施設展示製作設置 補助金事務、部会運営事務、委託業務調整事務等 整備関連事業総括、補助金事務総括							
工程表の政策内容	史跡青谷上寺地遺跡の整備推進、「とっとり弥生の王国」のプロモーション							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

保存状態の良い多種多様な道具類、生活廃棄物、人骨、朝鮮半島や中国に由来する品々が出土することで知られる全国屈指の弥生時代遺跡「青谷上寺地遺跡」を適切に保存し、有効に利活用するために必要な整備を実施する。令和5年度の展示ガイダンス施設等のオープン、令和11年度のグランドオープンに向け、整備工事を進めているところである。

2 主な事業内容

- 弥生時代の環境や人骨の出土状況再現、優れた出土品や最新成果の展示、当時の生活・技術を体感
- むきばんだ史跡公園との連携、弥生時代の歴史や文化を満喫、地域振興と歴史遺産観光の促進

3 事業の年次計画・事業費、令和5年度事業内容

- (1) 年次計画
段階的な工事・公開を実施し、令和5年度にオープン、令和11年度にグランドオープンの予定
- (2) 想定概算事業費
約2.7億円
- (3) 予算額
令和5年度 500,417千円
- (4) 令和5年度の内容

○弥生の自然体感地区（指定地南工区）、第1多目的ひろば、エントランス地区（第2駐車場）等

（単位：千円）

整備箇所等		内容	予算額
工事費	弥生の自然景観体感地区（指定地南工区）	植栽工、園路整備工、設備設置（外灯等）設置工	188,405
	第1多目的ひろば	舗装工、設備設置工（柵等）	25,246
	エントランス地区第2駐車場	舗装工、植栽工、設備設置工（ゲート等）	34,292
委託費	弥生の自然景観体感地区（指定地南工区）、第1多目的ひろば、エントランス地区第2駐車場	道標、解説板設計・設置 監督員補助委託等	4,989 5,679
	合 計		258,611

○展示ガイダンス施設

（単位：千円）

項 目		内 容	予算額
委託費	展示製作設置（債務負担行為R5支出分）	ガイダンス棟展示室、重要文化財棟展示室等の展示製作	192,082
	収蔵庫収蔵棚（債務負担行為R5支出分）	収蔵庫の重要文化財を収蔵するための積層棚の製作設置	17,125
	情報設備設置委託（庁内LAN等）	庁内LAN、館内等解説WIFI設置	9,625
備品購入費	館内備品	体験学習室・倉庫等の棚、事務室・写場等の備品	8,866
事務費等			14,108
合 計			241,806

4 事業目標・取組状況等

<目標>

- ・国史跡青谷上寺地遺跡の保存、活用、情報発信を推進するため、整備を行う。

<現時点での達成度>

- ・令和5年度の公開を計画しているガイダンス展示施設など史跡南側の整備について、土木工事、建築工事、展示制作に係る工事を実施中。

（注）起債欄の<>書きは交付税措置額を除いた額である。
県費負担額は、起債欄の<>書きの金額に一般財源の金額を加算した額である。

令和5年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費
2 項 企画費
6 目 文化財保護費

とっとり弥生の王国推進課（電話：0857-85-5011）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
青谷上寺地遺跡発掘調査事業	70,979	56,687	14,292	33,961			37,018	
トータルコスト	122,285千円（前年度 108,139千円）〔正職員：4人、会計年度任用職員：7人〕							
主な業務内容	第19次発掘調査、出土遺物の整理 補助金事務、委託業務関連事務、調査研究部会運営事務 発掘調査にかかる設計、予算執行に関わる調整 発掘調査業務総括							
工程表の政策内容	—							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

- (1) 整備計画に資するため、青谷上寺地遺跡の詳細な内容を確認する発掘調査を実施する。
- (2) 貴重な出土品を後世に引き継ぎ、出土品の調査研究や活用を可能とするための恒久的な保存処理を行う。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	内容	予算額
史跡等内容確認調査	(1) 発掘調査（第20次発掘調査） ・調査目的：人骨等が大量に出土した地点を調査し、青谷上寺地遺跡における価値を明確にする。 ・調査面積：225平米 ・発掘調査支援委託業務により実施 (2) 出土品の整理作業 ・令和2・3年度第19次発掘調査および令和4年度20次発掘調査の出土遺物について、整理作業（洗浄・注記・接合・復元・図化等）を行う。	66,806
整備予備調査	・ボーリング調査	1,397
埋蔵環境調査	・観測抗3地点の地下水位観測（委託）と水質観測（pH値測定、酸化還元電位測定、溶存酸素測定ほか）を行う。	785
出土品の保存処理	(1) 直営による保存処理 第19次調査出土木製品 (2) 専門業者に委託して実施する保存処理 第1次調査木製品3点、青銅器1点	1,423
とっとり弥生の王国調査整備活用委員会	・調査研究部会（青谷上寺地遺跡担当）を年2回（10月、3月）開催する。	568
合 計		70,979

3 事業目標・取組状況・改善点

○事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

- 遺跡の詳細な内容を確認し、その構造や景観などの実態を解明する。
- ・弥生時代後期後葉の集落全体像の解明
 - ・弥生時代後期後葉の景観復原図作成

<取組状況>

- ・地区ごとに解明すべき課題を定めた詳細調査（発掘調査）
- ・埋蔵環境の継続的な観察
- ・出土品の調査研究と活用を可能とするための保存処理
- ・ボーリング調査に基づく景観復元

<改善点>

史跡公園整備に向けて発掘調査計画及び調査課題についての時点修正を行い、想定される遺構や遺物に合わせて調査方法を検討する必要がある。

令和5年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費
2 項 企画費
6 目 文化財保護費

とっとり弥生の王国推進課（電話：0857-85-5011）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
青谷上寺地遺跡出土品調査研究等事業	10,201	10,103	98	2,240		<使用料手数料26、 財産収入8> 34	7,927	
トータルコスト	51,661千円（前年度 51,471千円）〔正職員：2人、会計年度任用職員：9人〕							
主な業務内容	出土品（土器・木器・人骨等）の調査研究、重要文化財指定品の修理、補助金事務、委託業務関連事務、予算執行に関わる調整、出土品整理作業業務の総括							
工程表の政策内容	—							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

- (1) 膨大な出土品の情報公開、活用を図るための調査研究（土器・木器等の再整理、出土品データベースの更新、DNA分析等の人骨の研究）を行う。
- (2) 重要文化財指定品（主に木器）のうち、欠損により現状では展示公開が困難なものについて、修理や部分的な復元を行う。

2 主な事業内容

(単位：千円)

区分	内容	予算額
1 出土品の調査研究	○整備、活用事業の充実を図るための「弥生人の暮らし」に係る応用研究 ○膨大な出土品の情報公開・活用を進めるための出土品の再整理 ○DNA分析等、人骨の研究	814
2 重要文化財指定品の修理	○欠損等があり現状では展示公開が困難な重要文化財指定品（主に木製品）の修理や部分的な復元（5年計画の4年度目）	4,294
3 弥生人の脳の保守管理	○「脳」保管用冷蔵庫の保守管理 平成12年に発見された「弥生人の脳」を保存する冷蔵庫の保守管理 ○「脳」の保存に係る調査指導 有識者により保存状態の確認を行い、保存方法に関する助言を得る。	106
4 鳥取市青谷町総合支所の負担金	○青谷かみじち史跡公園準備室は鳥取市青谷町総合支所の一部を使用しており、県と鳥取市との協定（鳥取市青谷町総合支所経費の負担割合等に関する協定、平成31年4月1日締結）の定めるところにより、経費の一部を負担	2,700
5 青谷かみじち史跡公園準備室収蔵室の機械警備委託	○青谷かみじち史跡公園準備室の遺物収蔵室の機械警備委託費	198
6 青谷かみじち史跡公園準備室の清掃委託	○鳥取市青谷町総合支所の青谷かみじち史跡公園準備室関係フロアの清掃委託費	150
7 標準事務費	○調査研究に関する海外との連携・交流 ○普通旅費、各種調整経費等	1,939
合 計		10,201

3 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

- ・青谷上寺地遺跡の出土品が持つ豊富な情報の発信に向けて調査研究を実施する。

<取組状況>

- ・膨大な出土品を種別ごとにデータベース化し、更新・公開している。
- ・調査研究報告書の作成、刊行を行っており、多くの論文に引用されている。
- ・海外（主に韓国）との調査研究交流を行っており、東アジアというスケールで知名度が向上している。
- ・出土品のうち1,353点が重要文化財に指定された（令和元年7月23日）。
- ・活用を可能とするためのレプリカや復元品を作製しており、県内外の博物館等で公開している。

<改善点>

- ・「弥生人の暮らし」に係る応用研究を進める必要がある。

令和5年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費
 2 項 企画費
 6 目 文化財保護費

とっとり弥生の王国推進課（内線：7934）
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 青谷かみじち史跡公園運営費	68,476	0	68,476			〈受託事業 収入〉 14,195	54,281	
トータルコスト	78,612千円（前年度 0千円） [正職員：1.3人]							
主な業務内容	指定管理者との連絡調整 委託料支払い 庶務・会計（鳥取県執行事業分）							
工程表の政策内容	—							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>青谷かみじち史跡公園について、開園準備及び適切な管理運営を実施する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>史跡公園運営の内容</p> <p>(1) 青谷かみじち史跡公園の指定管理料（令和5年11月～令和6年3月） 28,096千円</p> <p>(2) 開園準備業務委託費 7,170千円</p> <p style="padding-left: 20px;">指定管理予定者との協定締結後から史跡公園の開園までの間において、円滑な指定管理導入を図るため、指定管理予定者に開園準備業務を委託する。</p> <p>(3) 機械設備保守等維持管理費 33,210千円</p> <p style="padding-left: 20px;">整備事業者から県への施設引渡し後(令和5年3月予定)から史跡公園の開園までの間の機器設備保守等の維持管理は、県直営で実施する。</p>								

令和5年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費
2 項 企画費
6 目 文化財保護費

とっとり弥生の王国推進課（内線：7932）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっとり日本遺産魅力発信事業	6,000	6,671	△671				6,000	
トータルコスト	13,797千円（前年度 14,557千円）〔正職員：1人〕							
主な業務内容	契約事務 関連団体調整 ネットワーク会議、フォーラムスタッフ 印刷物原稿作成、校正 パネル巡回展作業							
工程表の政策内容	とっとり日本遺産の魅力発信							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

鳥取県内で認定されている4地域の日本遺産について、地元の人に魅力を発信するとともに、各日本遺産間での情報の共有、誘客のための効果的な連携を図ることを目的とする。

※令和3年度三朝町の日本遺産再審査時に指摘された課題の一つである「地元住民の意識の向上」に対応するため、地元の推進協議会や観光団体との連携を目的としたネットワーク構築による情報共有や、地域の日本遺産を深く知る機会を創出するための取り組みを連携して実施する。

2 主な事業内容

(単位：千円)

	細事業	内容	予算額
1	とっとり日本遺産連携促進事業	○「とっとり日本遺産ネットワーク会議」開催 県内の日本遺産所在自治体、推進協議会及び観光団体等との連携を目的とした会議を立ち上げる（年2回開催）。	82
2	とっとり日本遺産周知促進事業	○「とっとり日本遺産フォーラム」開催 「とっとり日本遺産ネットワーク会議」立ち上げ記念として広く県民に県内日本遺産を紹介するフォーラムを開催する。 ○とっとり日本遺産プレゼントキャンペーン SNSでとっとり日本遺産に係る写真とコメントを投稿してもらい、応募者から抽選でとっとり日本遺産に係る物品をプレゼントする。 ○「とっとり日本遺産パネル巡回展」開催 県内日本遺産について周知を図るため、日本遺産所在市町において日本遺産のストーリー及び構成文化財を紹介するパネル巡回展を開催する。	5,358
3	とっとり日本遺産周遊促進事業	○とっとり日本遺産ガイドブック・ポスター増刷、配布 県内日本遺産の周遊を図るため、令和4年度に作成したガイドブック・ポスターを増刷、県内観光施設等に配架、ガイドブックは各種イベントなども配布する。 ○とっとり日本遺産イベント装飾物作成 県内外のイベントに参加し広報力のあるブースを展開し、とっとり日本遺産をアピールするため、ブース出展用の装飾物（テーブルクロス、背面用タペストリー、のぼり旗を作成する。	560
合 計			6,000

3 事業目標・取組状況・改善点

県内で認定されてる4地域の日本遺産推進協議会と連携し、積極的な活用を図ることで、認定取消もありえる3年に1度の文化庁の審査委員会審査において認定継続を勝ち取っていく。

令和5年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
6目 文化財保護費

とっとり弥生の王国推進課（電話：0857-85-5011）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
【青谷かみじち史跡公園開園記念】とっとり弥生の王国発信強化事業	49,550	26,455	23,095				49,550	
トータルコスト	57,347千円（前年度 34,341千円）〔正職員：1人〕							
主な業務内容	とっとり弥生の王国プロモート事業 とっとり弥生の王国フェスタ事業 とっとり弥生の王国ツーリズムフェスタ事業 とっとり弥生の王国「青谷かみじち史跡公園」PR事業							
工程表の政策内容	「とっとり弥生の王国」のプロモーション、妻木晩田遺跡の公開活用及び普及啓発・情報発信							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

- 県内外からの鳥取県への集客を図るため、妻木晩田遺跡や青谷上寺地遺跡における最新の調査研究成果などを活かし、全国に「とっとり弥生の王国」の魅力や情報を広く発信する。
- 令和5年度に開園を予定している青谷かみじち史跡公園の開園に関する情報を県内外に広くPRし、オープンに向けて気運を醸成していく。
- 妻木晩田遺跡を中心とした淀江地域及び青谷上寺地遺跡を中心とした青谷地域を1パッケージにして観光資源として磨き上げる。

2 主な事業内容

（単位：千円）

	細事業名	主な内容	予算額
1	とっとり弥生の王国プロモート事業 「青谷弥生人」を活用した波状的情報発信	「青谷弥生人」ミュージアムキャラバン 「青谷弥生人（青谷上寺朗）」や出土品を関西、首都圏等で展示	780
2	とっとり弥生の王国フェスタ事業 「とっとり弥生の王国」を満喫するための集客イベントやシンポジウムを開催	(1) とっとり弥生の王国フェスタ 青谷かみじち史跡公園とむきぼんだ史跡公園で開催 (2) とっとり弥生の王国シンポジウム テーマ：倭人の真実 vol. 3 一人骨に刻まれた歴史一	20,335
3	とっとり弥生の王国ツーリズム事業 「とっとり弥生の王国」の旅行商品化促進	(1) とっとり弥生の王国周遊促進スタンプラリー 全国からの集客力を高め、周遊を促進するためのスタンプラリー (2) とっとり弥生の王国ツーリズム促進 とっとり弥生の王国を素材とした旅行商品化を促進する事業 (3) とっとり弥生の王国 旅番組制作・放送	5,345
4	青谷かみじち史跡公園スタートアップ事業 青谷かみじち史跡公園の開園を記念した式典や特別企画展示の開催など	(1) 重要文化財等運搬・収蔵庫等環境整備 (2) 内覧会・開園式典 青谷かみじち史跡公園開園に伴う記念式典の開催 (3) 開園記念特別企画展 青谷かみじち史跡公園開園を記念し、とっとり弥生の王国が誇る貴重な出土品を集める特別企画展。注目度を高め、集客を促す。 (4) 史跡公園を楽しむリーダー養成ワークショップ (5) 地元住民の活動参画支援	20,845
	その他事務費等		2,245
	合 計		49,550

3 事業目標・取組状況・改善点

「とっとり弥生の王国」をPRすることを目標に、観光のプロと連携した旅行商品化の推進、「青谷弥生人」の復顔像を活用したイベントや情報発信、両史跡をそれぞれ会場としたフェスタを開催するなど、効果的な情報発信と現地や本物を体感する事業展開を進めている。